

社会実験「ニコニコぱーく」 実績について

まちなかりバースプロジェクト
庁内検討チーム

社会実験「ニコニコぱーく」 目的と内容

社会実験の目的：①遊び場と飲食の複合スペースを設置することによる利用の流れの検証
②子どもと保護者の居心地の良い空間の創出
③子育て世帯のまちに対するニーズの把握

実施箇所：道の駅日光 ニコニコ本陣 多目的ホール

実施期間：12月5日（木） 12：00～15：30
12月6日（金）・7日（土） 10：00～15：30

内 容：●使われなくなったおもちゃ等を設置。
併せて、テーブルを設置して飲食スペースを設置。
●アンケート協力者にはお菓子を配布することで、
アンケート記入と飲食スペースの利用を促す。

効果測定：目視及び利用者へのアンケート調査

周知方法：●メディア⇒市ホームページ、広報誌、LINE
●園児向け⇒市内幼稚園・保育園にチラシを配布※29園（約2,000園児）



アンケート結果（回答件数：35件）

（1）利用者に関する情報

約2日半の通算で36組、約100名にご来場いただいた

来場数	12月5日(木)	12月6日(金)	12月7日(土)	計				
	6組 15名	10組 26名	20組 56名	36組 98名				
子供の年代	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
	3人	5人	13人	3人	6人	4人	6人	1人
住まい	日光市内	県内(市外)	県外					
	26人	4人	6人					

観光客の多い道の駅での実施だったが、利用者の7割が市内在住であった

（2）ニコニコぱーくについての項目

利用時間	10分	30分	40分	60分	90分	120分	180分
	2組	4組	2組	13組	2組	7組	3組
満足度	大変良い	良い	悪い	大変悪い			
	18人	14人	0人	1人			
利用経緯	チラシ	広報誌	クチコミ	日光市HP	道の駅利用で見かけた	SNS	
	14組	4組	3組	3組	6組	1組	
飲食スペース	利用	未利用					
	9組 (25%)	27組 (75%)					

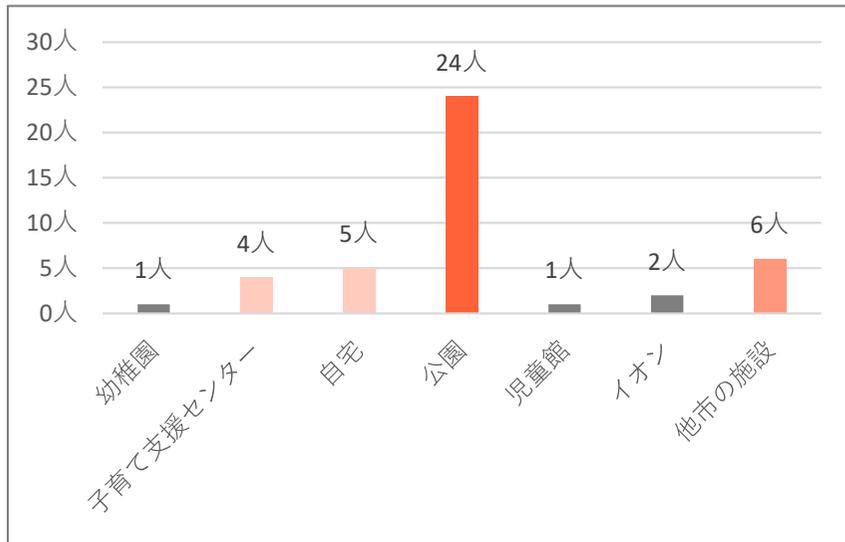
1時間、2時間といった利用が多かった

利用者からは好意的な回答がほとんどであった

飲食スペースは25%の利用率であった

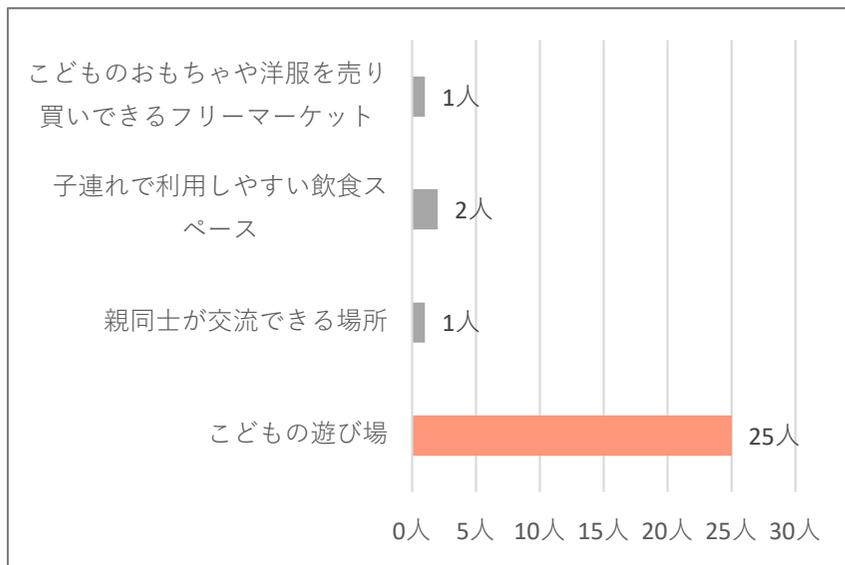
アンケート結果 その他

①普段はどこで遊ばせますか



- ・利用者の大半が「公園」と回答。
- ・「他市の施設」が2番目に多く、一定数の子育て世帯が市外に出て遊ばせていることがわかった。
- ・「自宅」が3番目、「子育て支援センター」が4番目に多い回答であった。
- ・子育て支援センターは小さい子向けなので卒業してしまったといった声もあった。

②子育てにはどんな場所が必要ですか

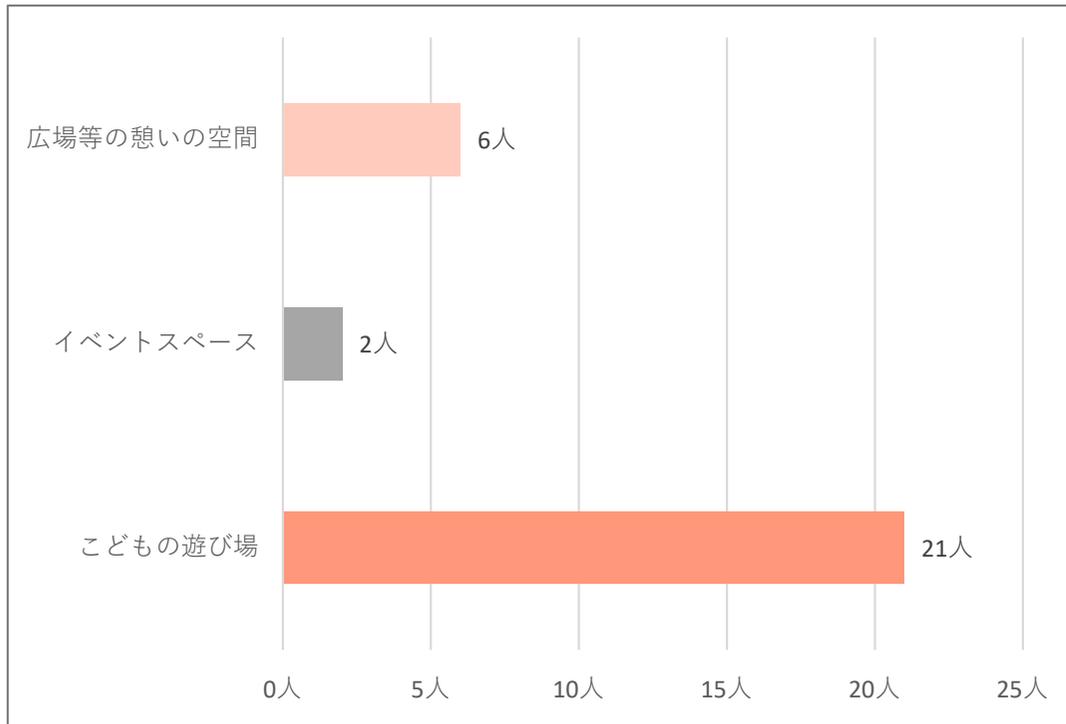


1つだけ回答（誤回答を除く）

- ・ほとんどの利用者が「こどもの遊び場」と回答した。

アンケート結果 その他

③道の駅周辺に欲しい施設はありますか？（1つだけ回答）



・「こどもの遊び場」との回答が最も多く、次点として「広場等の憩いの空間」の回答が多かった。



・保護者の立場から子供の利用を考えての回答をする傾向がみられた。

実験結果のまとめ・考察

●来場者の満足度が高いアンケート結果が得られ、常設を希望する声も多くいただいた。数組にリピーターとしてご利用いただけただけのことからも、子育て世帯にとって居心地の良い空間が創出できたと考える。

●観光客の多い道の駅で実施したが、利用者の約7割が日光市民であり、市内の子育て世帯の利用を促すことが出来たと考える。

●好意的なアンケート結果や飲食スペースの利用率25%といった結果から、遊び場の近くに利用しやすい飲食スペースを設置することは、周辺に店舗がある場合においては子育て世帯の回遊を促す可能性があると考えられる。

●子育て世帯のまちに対するニーズとして、「こどもの遊び場」が求められており、総合すると、年齢関係なく、広い室内スペースで安全に遊べる場所に需要があると思われる。